



トキワヒガシ No.51

九日(水)に、岡崎市算数・数学科指導員の神谷先生をお招きし、授業研究を行いました。

二年生の授業では、式を変形し、工夫して計算をするという内容の授業を行いました。(一・二年生は複式学級ですが、国語と算数は内容と指導者を別に行っています)。

三年生では、重さの学習をするにあたり、子供たちの意欲を最大限に高めるために、見た目ではどれが重いかを判断しにくい四つの物の重さを調べるという授業を行いました。そして、六年生は四角形や三角形の入り混じった複雑な形の面積の求め方を考えるという実践を行いました。いずれも、工夫を凝らした見応えのある授業ばかりでしたが、特に三年生の授業は、授業者のみならず、多くの職員が授業構想の段階から関わり、授業の直前には模擬授業(児童に見立てた先生方を前に、授業者が本番さながらの授業をすることで、教師の発問や児童の活動の質をさらに高めるもの)を行うなど、力を合わせて作り上げた授業でした。**やりたかったことが全部できました**という授業者の感想は満足感にあふれていました。準備は大変だったことと思いますが、授業を通して子供たちの笑顔に触れ、もったいい授業を作ったという思いを強くしたことでしよう。

十一月にも授業研究を行います。さらによい授業を作り上げるようにしたいものです。



十一日(金)には、五回目となる学区ふれあい遠足が行われました。雨が心配される中での実施となったため、当日の朝は児童の参加についてかなり悩みました。しかし、準備を進めて下さった社教委員会や福祉委員会の皆さん、てるてる坊主を作って今日の実施を願った子供たちの思いを優先しました。予想通り、雨に降られてしまいました。怪我やトラブルもなく、無事に実施をすることができました。また、何人もの保護者の方、地域の方から、「雨に降られず濡れにはなっただけ、これはこれで貴重な、楽しい思い出になりました。」という声をいただき、実施してよかったと思いました。皆さん、お疲れ様でした。

